

第5回すくすくたけのこの集い

2月18日、「第5回すくすくたけのこの集い」が鶴田中央公民館で開催されました。

このイベントは、鶴田小学校区青少年健全育成推進委員会の主催で行われたもので、鶴田小学校器楽部のオーブニング演奏の後、「私の意見・特技の発表」として、鶴田幼稚園・小学校・中学校、同校出身の高校生による9つの舞台発表と、宮崎県三股町の演劇ワークショップ「みまた座」朗読劇が披露されました。また、地元農業団体や民生委員、高齢者、学校から出演者やスタッフの昼食として、おにぎりやそばの提供もありました。



児童による舞台発表

平成18年度 川薩地区植樹祭



緑の少年団員がカヤの木を植える森(きずな)

2月24日、神子の建山町有林で、平成18年度川薩地区植樹祭が行われました。

当日は、本町と薩摩川内市の林業関係者と緑の少年団員が参加し、間伐の徹底や地材地建の推進など4つの植樹祭スローガンを採択しました。

川薩地域林業振興協議会長の井上町長は、「森林は、木材の生産や水資源のかん養、砂漠化や地球温暖化の防止など多岐にわたる役割を果たしています。豊かな森を次の世代に残していきたいと思います」とあいさつしました。

植樹祭では、昭和55年から間伐推進員として活動してきた本町の大庭慶男さんなど林業に功労のあった方々に褒賞授与が行われました。その後、参加者全員で町議会議員有志が森林環境税の助成を受け造った「絆の森」にカヤの木を植樹しました。

さつま永野ウオーキング大会

2月25日、永野東部・西部地区むらづくり連絡会が中心となり、第2回「さつま永野ウオーキング大会」が開催され、町内外から350人が参加しました。

永野地区は、古くは「永野金山」として、昭和28年の閉山まで約300年にわたり栄えた地域であり、その歴史を探究するイベントとしてウオーキング大会を平成18年度から開催しています。大会当日まで、むらづくり委員が中心となり地域全体で準備を行い、難所については「竹の杖」をサービスするなど、「昨年よりも何か新しい試み」と、地域全体が盛り上がりました。

コース途中の金山公民館広場では、旧宮之城町の(永野金山に縁のある)『金山踊り(かなやまおどり)』が披露されるなど、合併後の交流も図られていました。ゴール後は、地元婦人グループによる豚汁やおにぎりが配布され、また地元農産物販売コーナーも盛況でした。



人間田の神さあと記念撮影

二渡地区ほ場整備完工式



せせらぎの郷二渡に建立された完工記念碑の除幕式

2月26日、県営中山間地域総合整備事業(ほ場整備)二渡地区の工事が完了し、地元関係者など約120人が出席して完工式が行われました。

完工式に先立ち、せせらぎの郷二渡に建立された完工記念碑の除幕式も行われました。

工期は平成12年度から平成17年度まで、総事業費約12億7千万円、受益面積21・8ha。生産基盤整備としてほ場農道、用排水路、生活環境基盤整備として集落道路、集落排水路、農村公園などを整備しました。